



愛川ふれあいの村10月の風景

## 平成24年 10月 自然のたより

「秋の日は釣瓶（つるべ）落とし」と言われるように日が落ちるのが早くなりました。日暮れとともに気温も低くなり、秋寒を感じるようになりました。村内の木々の紅葉も、一部はじまっています。

<10月の自然のエピソード>

村内で秋虫の大合唱が聞こえるようになりました。一番多く聞こえる「リュールュー」はアオマツムシ。「コロコロリーリー」はエンマコオロギ。「チッチッ」はカネタタキ、「ジリジリ」はササキリなど、さまざまな秋虫がいます。ほとんどはオスが鳴き、写真のアオマツムシのように翅（ハネ）を広げ、こすり合わせて鳴き、メスを呼んでいます。



ひょっこり出てきたアナグマ



鳴いているアオマツムシのオス



アオマツムシのメス



紅葉したトウカエデ



ガビチョウ



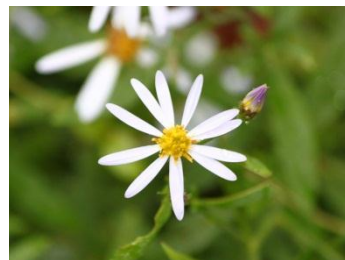
キンモクセイ



ホトトギス



ヤマトシジミ



ノコンギク



キイロイグチ



ササキリ



シモバシラ



オニヤンマ



コブシの実と黄葉